



2018年10月27日みどりの少年団「森林体験学習」を、NPO 法人相模原こもれびがサポート。

相模原市内の小中9校、小学1年生から中学生までの48名スタッフ10名の総勢58名の参加者でした。

午前中は、木もれびの森の木を3班に分かれて一本ずつ伐採です。のこぎりですこしずつ分担して伐ります。ロープをかけて安全にたおしました。そして伐った木の幹や枝を整理しました。のこぎり体験は、この午前中の作業で、十分に習得できました。

イヌシデ広場横の高木に**テイカカズラの紅葉が見られました。**



お昼お弁当時間



次は、ホダギを作しましょう。穴は、大人がドリルで開けます。そこへ、シイタケ菌糸体を含んだ種菌のコマを穴に入れ、こづちで打って中にいれます。育て方のメモを差し上げましたので、それを参考にして



育ててくださいね。来年の冬にシイタケが出てきます。お昼のお弁当を食べた休憩時間に、**両引きのこぎり**で太い丸太を伐りました。力も要りますし、二人が押ししたり引いたり合わないとスムーズにいきません。

さて、午後は、ヒンメリづくりを楽し



みました。三角形の組み合わせで、8面体の飾りです。スウェーデン語で”天”を意味し、今はクリスマスの装飾品として使われ、幸運のお守りになっています。みんなは、作り方を教えてもらい、一生懸命に作りました。大小のもので、中に入れたり、下に吊るしたり。さて、**最後は、森を感じてみよう。**この葉っぱはどんな味がする？苦木という木の葉っぱでした。朝早くから2時すぎまで、十分に楽しみました。またお会いしましょう！

